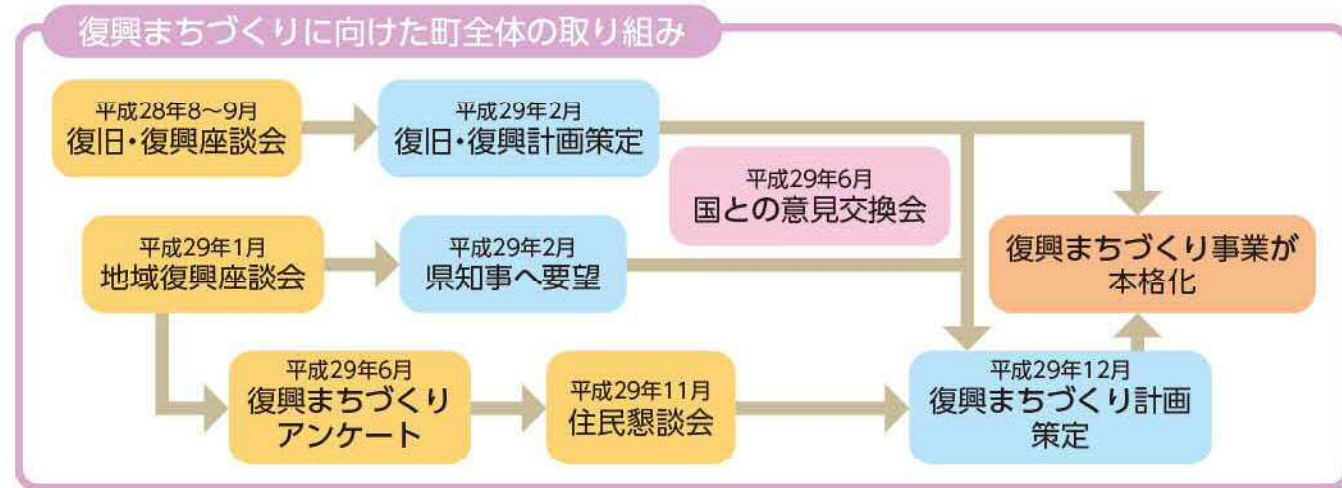


3 復興まちづくり

町全体の防災力を強化し、町民の皆さんが安全・安心に生活できるようなまちづくりを「復興まちづくり」と捉え、様々な復興事業に取り組んでいます。

これまで、町民の皆さんの困りごとをつぶさに聞き、町と町民の協働による計画づくりを行い、また、国・県への要望活動なども行ってきました。



主な復興まちづくり事業

創造的復興の実現に向けて、様々な復興事業に取り組んでいます。

- ◆**町民体育館改修事業(平成30年8月完了)**
天井や柱の破損により発災直後から約2年4カ月間、使用を停止していましたが、改修工事により平成30年9月に一般開放を再開しました。
- ◆**さんふれあ改修事業(平成30年10月完了)**
建築から17年がたち、経年劣化による傷みから、約10カ月間にわたる改修工事を行い、平成30年10月、健康増進室(にんじむ)やスタジオを新たに備え、健康拠点としてリニューアルオープンしました。
- ◆**下水道地震対策事業**
災害時のトイレの確保を図るため、マンホールトイレを整備します。
- ◆**地区公民館耐震診断事業**
災害時、町民の皆さんが安心して公民館を利用できるよう、耐震診断の実施、地区への支援を行っています。
- ◆**防災土育成事業**
災害に関する知識と技能を備えた地域の防災リーダーを育成するため、合志市、菊池市と共同で、養成講座を行っています。
- ◆**(仮称)光の森多目的広場整備事業**
現在の利用形態を維持しつつ利便性を高め、防災機能を持たせた被災者支援拠点として防災広場を整備します。
- ◆**(仮称)防災センター整備事業**
大規模災害が発生した場合に、より速やかに被災状況を把握し、被災者支援を行い、早急に復旧に着手して地域の復興を図るため、町の防災拠点として防災センターを整備します。



さんふれあに新たに整備された健康増進室(にんじむ)



平成30年度防災土養成講座の様子



(仮称)光の森多目的広場整備イメージ

4 応援・連携の強化

熊本地震以前も各団体や企業、自治体などと災害時の支援に関する協定を締結していましたが、災害に強いまちづくりの実現のため、これからも災害時の応援・連携体制を強化していきます。

熊本地震以降に締結した協定

- 平成29年2月 災害時相互応援協定(大阪府豊中市)
- 平成29年3月 災害時物資供給協定(NPO法人コメリ災害対策センター)
- 平成29年4月 災害時物資供給協定(富士フィルム株式会社) 特設公衆電話設置・利用協定(NTT西日本)
- 平成29年8月 災害時情報発信協定(ヤフー株式会社)
- 平成29年11月 災害時相互応援協定(鹿児島県屋久島町)
- 平成30年3月 一時避難所利用協定(創価学会熊本県事務局)
- 平成30年6月 し尿等収集運搬支援協定(熊本県環境事業団体連合会)
- 平成30年8月 被災建築物解体撤去支援協定(一般社団法人熊本県解体工事業協会)



大阪府豊中市



鹿児島県屋久島町

協定による実際の活動



みなし仮設住宅相談窓口で応援業務を行う 熊本県職員



町民から話を聴く山江村職員



り災証明書の申請方法を説明する相良村職員



災害ごみの仕分けを行った菊陽土木建設業協会(現:菊陽建設業協会)



町総合防災訓練に参加したNTTグループ

災害に関する協定締結先

- ◆国土交通省
- ◆熊本県
- ◆県内全45市町村
- ◆県内消防関係官公署
- ◆熊本空港事務所
- ◆菊陽建設業協会
- ◆菊陽町造園協会
- ◆イオン九州株式会社
- ◆株式会社イズミ
- ◆株式会社ジェイコム九州
- ◆株式会社ゼンリン
- ◆公益社団法人熊本県トラック協会
- ◆コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- ◆株式会社
- ◆サントリービバレッジサービス株式会社